

「頑張る地方応援懇談会 in 愛媛」議事概要

1 日 時 平成19年3月17日(土) 13:30~15:30

2 場 所 「愛媛県女性総合センター」
愛媛県松山市山越町450番地

3 出席者

(1) 市町村長

なか 中 お 越 いし 石 おお 大 い 井 たか 高 うえ 上 たま 玉 こ 河 おか 岡 まつ 松	むら 村 ち 智 ばし 橋 もり 森 はら 原 すか 須 むら 村 みず 水 ち 内 うら 浦	とき 時 しのぶ 忍 ひろ 寛 たか 隆 たくみ 巧 いさお 功 とし 俊 とし 寿 こお 紘 たけ 武 じん 甚	ひろ 広 ひさ 久 お 雄 たくみ 巧 いさお 功 ゆき 之 きよ 清 いち 一 お 男 いち 一	まつやま 松山市長 いまばり 今治市長 うわじま 宇和島市長 おおず 大洲市長 しこくちゅうおう 四国中央市長 とうおん 東温市長 かみじま 上島町長 くまこうげん 久万高原町長 うちこ 内子町長 まつの 松野町長 きほく 鬼北町長
--	--	--	--	---

(2) 総務省

かわ 河 ふじ 藤 たけ 武 とき 時 さ 佐 よね 米	い 合 井 井 井 澤 とう 藤 だ 田	つね 常 あき 昭 とし 俊 ただし 忠 ふみ 文 こういちろう 耕一郎	のり 則 お 夫 ゆき 幸 とし 俊 こういちろう 耕一郎	総務大臣政務官 自治行政局長 四国総合通信局長 自治行政局国際室長 自治財政局財政課長 自治税務局都道府県税課長
---	---	---	--	---

4 次 第

(1) あいさつ

- ① 河合常則 総務大臣政務官
- ② 中村時広 松山市長

(2) 総務省からの説明

- ① 頑張る地方応援プログラムについて
- ② 地方行財税制上の諸課題等について

(3) 意見交換

5 要旨（主な意見）

（1）各市町村長

- ・ 頑張る地方応援プログラムの交付税算定について、行革の取組について、近年の歳出の増減率を重視した算定となっているが、先進的に先行して取り組んできた自治体について、その取組を評価するような仕組みを考えていただきたい。
- ・ 高金利の地方債の繰上償還について認める方向が打ち出されたことには感謝しているが、その条件設定について財政的に脆弱な団体のみならず、不断の行革努力により比較的良好な財政運営をしているところも対象としていただきたい。
- ・ 今回の税源移譲について、6月の住民税のアップについてかなり混乱するのではないかと危惧している。国の方でももっと広報宣伝をやっていただきたい。
- ・ 交付税が補助金化しないよう、地方公共団体の固有の財源であり、自主的な判断で使用できるよう配慮をお願いしたい。
- ・ 実質公債費比率のような新しい指標、新型交付税のような新しい仕組み、変革は必要と考えるが、地方が対応できるよう、もう少し時間がいただきたい。
- ・ テレビのデジタル化、リアス式海岸で山がちな地形では、果たして電波がどこまで届くのか、非常に不安がある。小さな集落では、数百万円の負担というところもあり、お年寄りの唯一の楽しみを奪う大きな課題。財政的に余裕があれば中継局を多くつくれば済むがそのような余裕の無い中で、どうしたらよいかご指導をいただきたい。
- ・ 実質公債費比率が高く、財政的には非常に厳しいが、スポーツ振興とか、自主防災組織を100%組織したり、国営開発事業の農地を生かし、茶栽培のブランド化に取り組んでおり、いろいろと知恵を出し合っていきたい。
- ・ 基本的に普通交付税というのは、本来標準的な行政経費を賄うためにあるのであって、今回のプログラムについて、普通交付税の中でみるべきなのかどうか気になる。頑張ったところ、頑張らないところについては、本来、別枠で考えていただければと思う。
- ・ 特に環境を重視した産業施策に取り組んでいるが、このような分野は、短期間では結果がでにくいもの。今回のプログラムの成果について、このあたりの点、どのように評価していただけるのか。また、新規ではなく、既存で取り組んでいるものも対象としていただけるのか。9つの例示があるが、それ以外の分野の取組について、どのように反映していただけるのかご教示いただきたい。
- ・ 頑張ったところと頑張らないところについて、他の補助金とか、交付金とかの関係で、結果として頑張ったところの方がトータルとして減っているということのない仕組みづくりをお願いしたい。
- ・ 税源移譲も、雇用の場の少ない町では、住民税も期待できず減額となる。水源涵養、災害防止の観点からも森林整備に力を入れているのでこのような点、今回のプログラムに反映していただけるような配慮をお願いしたい。
- ・ 農村地域の魅力発信ということで、一番奥地の集落で宿屋をやったり、お祭りをやったりして、外国人を含め、多くのお客様にきていただいているが、来訪者からそういったところでもインターネットを使いたいという要望が出されている。インターネットの整備への支援をお願いしたい。
- ・ 特徴ある地域づくりのため、職員のサポートのもと、住民も頑張っている。この住民のやる気を引き出して、町が元気になっているところを評価していただければありが

たいと考えている。

- ・地方交付税は小さな町ほど重要であるので、国の財政に影響されないような明確で安定した一般財源の確保をお願いしたい。
- ・国や県の助成により整備が整い、どこにも負けない農産品ブランドができあがったが、今後は町の活性化のため販売に重点を置き、頑張っていきたいのでご支援をお願いしたい。

(2) 総務省

- ・評価指標について、何人かの市町村長から質問があったが、その点についてはやはりよく検討して取り組んでいきたい。市町村長は一番住民に近いところにいるので、住民の感覚を一番敏感に反応されて政治をされておられるので、その辺りの点、よく聞かせていただきたい。
- ・合併に取り組んでいただいているが、旧市町村のイベント、伝統文化をどう残していくのか、難しいところであるが、それが地域活性化のもとになるので、地域コミュニティの存続というのは基本であると思う。
- ・森林整備に力を入れておられるところ、220の自治会の担当職員を決めたところ、頑張るのは職員ではなく、最終的には住民であるとお話、観光に力を入れているところ等々、いろいろと有益なお話をいただいた。みんなで知恵を出し合いながら、地域が残っていくような取組、そのような政策が必要ではないかと感じた。
- ・合併と行革との関係、いろいろと苦勞をされていることがひしひしと伝わってきた。今後も合併のプランなり、行革の計画をつくるなり、県とも相談されると思うが、そういった計画策定の中でも、皆様方のご意見を聞きながら、ご協力させていただければと思う。
- ・例示以外の取組についても期待している。また、既存の取組であっても、具体的な成果目標が策定されるのであれば、当然、対象となる。
- ・指標の取扱いについて、多くのご意見をいただいたが、普通交付税の算定には、信用力のある統計に基づく数字でなければならず、随分内部の検討をした上で9つを上げさせていただいた。また、数字は客観的でも、その評価については、いろいろととらえ方があり、今回のご意見も検討の材料として、夏までの間に十分検討をしてスタートできるようにしたい。
- ・新型交付税について、算定方法は簡素化し、その一方、算定結果は今までと変わらないというのが理想である。ただ、個別に見ればどうしても大きな影響が出てしまうところもあり、その他の要素を踏まえてもどうしても変動幅が大きくなるなどについてどうするか、今後の検討としたい。
- ・改革への対応のための時間をというご意見があった。毎年のようにいろいろな改革が求められ、その対応をするということでスピードが早すぎるという意見もあると思う。いろいろな機会でも情報提供をするなり、最大限の努力をしたい。
- ・高金利の起債の繰上償還の話もあったが、5%以上の金利の起債について5兆円規模でやるということになっているが、残高が10兆円あり、その中でどうするか絞り込みも必要。ただ、結果として5兆円は消化できるやり方をしたいと考えている。
- ・所得譲与税と住民税との税源移譲の関係については、所得譲与税と住民税の差額については、交付税で調整されると考えていただければと思う。

- ・税源移譲の話、首長さん方に危機感を持っていただいております、非常に心強く感じました。当方でも対応できるよう検討を進めている。今回の税源移譲がうまくいくことが、今後の地方税の充実にむすびついていくかどうかの正念場だということをご理解いただきたい。
- ・インターネットが使えず、来訪者からクレームが出たとの話があったが、ADSLが一部使えない地域が残っているとのことと理解するが、この問題については、昨年秋から県の協力も得て、調査をしている。一部では、住民が自らケーブルを引き、町のケーブルテレビから無線で山奥までインターネット環境をつくった事例もあり、財政状況も厳しいと思うが、いまある資源と、住民の協力を得て、早く環境整備ができるよう検討できればと考えている。
- ・地上デジタルの話について、今後エリアが広がる中で、今までの施設でよいところと、施設改修が必要なところについて、市町村のご協力をいただきながら、必要な計画をしていきたいと考えている。あまりにも改修に過大な負担が必要なところは国の補助制度も来年度からスタートできると思うので、主要デジタルの受信ができないといったことが生じないように一緒に努力をさせていただければと考えている。
- ・私も地元で山間部でケーブルテレビの整備に取り組んだ実績があるが、いろいろな制度を活用し、工夫と知恵で解決できた。先ほど、インターネットの話もあったが、ケーブルテレビでインターネットもできるので、いろいろとご検討いただきたい。
- ・プロジェクトについては4、5月と秋の2回募集をし、その結果をホームページで公表し、事例集を作成して、全国に普及啓発をしていきたい。また、特に優良な事例については、表彰も考えているので、是非とも積極的なご活用をお願いしたい。